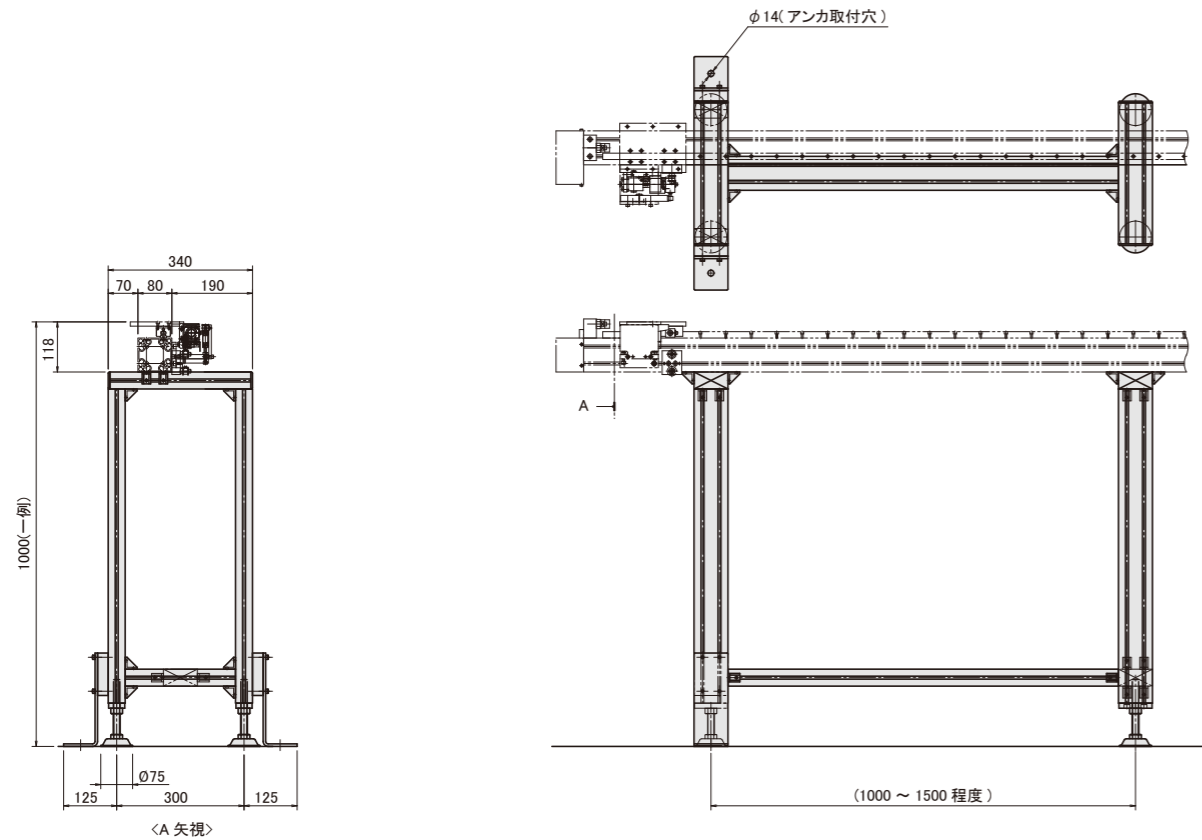


架台 外形寸法図

※こちらは参考図面です。搬送面高さや幅によって変わりますので、実際の仕様に応じて製作いたします。



シャトル移動時間表

減速比5 単位: 秒

搬送重量 (kg)	減速比	ストローク(mm)			
		4000	6000	8000	10000
2	2	1.3	1.7	2.1	2.5
4	4	1.5	1.9	2.3	2.7
6	6	1.7	2.1	2.5	2.9
8	8	1.9	2.4	2.8	3.2
9	9	2.0	2.5	2.9	3.3

減速比9 単位: 秒

搬送重量 (kg)	減速比	ストローク(mm)			
		4000	6000	8000	10000
2	2	1.9	2.7	3.5	4.3
4	4	2.0	2.8	3.6	4.4
6	6	2.1	2.9	3.7	4.5
8	8	2.2	3.0	3.8	4.6
10	10	2.3	3.1	3.9	4.7
12	12	2.5	3.3	4.1	4.9
14	14	2.6	3.4	4.2	5.0
16	16	2.8	3.6	4.4	5.2
18	18	3.0	3.8	4.6	5.4
20	20	3.2	4.0	4.8	5.6

(注1) チューニング設定や搬送条件によって最大0.5秒程度の遅れが生じます。
 (注2) 位置決めオプションを使用する場合、位置決めON/OFFに約0.2秒ずつかかります。

仕様

駆動方式	ワイヤ	
モータ仕様	三菱電機(株) サーボモータ HG-KR73	
減速比	1/5	1/9
最大搬送重量(kg)	9	20
最大速度(mm/s)	5000	2500

FARBO-S専用WEBページはコチラ

製品動画、アプリケーション等がご覧いただけます。

<https://nke.co.jp/product/new/farbo-s.html>

ワイヤ駆動の高速搬送シャトル

ファ-ボ エス FARBO-S

高速

長尺

多連



1 最大速度 5,000mm/sec

ワイヤ駆動方式の採用により高速搬送を実現。タクトタイムを短縮し仕掛り品を減らします。

2 最大ストローク 10,000mm

4,000~10,000mm間を100mmピッチで指定可能。特注対応で1mmピッチの指定も可能です。

3 複数シャトルで多連搬送

独立駆動するシャトルを同一レール上に複数搭載することで、タクトタイムのさらなる短縮に貢献します。

特許取得済 新開発 オートテンション機構搭載

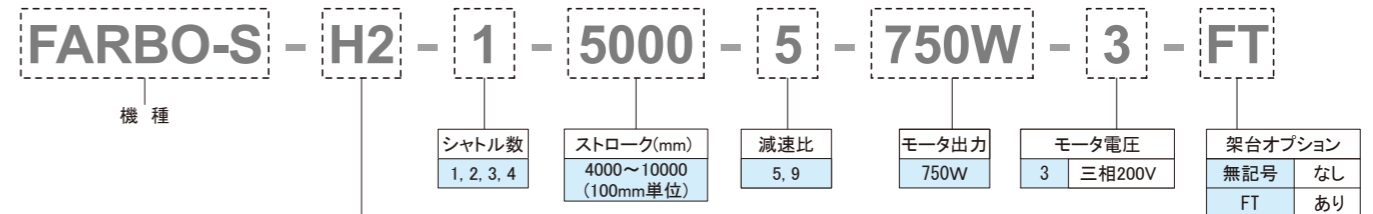
ワイヤの伸びに対してメンテナンスフリーで使用可能
 ※定期的に原点復帰動作を行うことで、ワイヤの伸びを吸収します



FARBO-Sでモノづくり現場を支援します!



型式基準



記号	フローティング機構	位置決めオプション	繰り返し停止精度
無記号	なし	なし	±0.5mm
H0	あり	なし	±0.1mm
H□※	あり	あり	±0.1mm

※□には位置決めオプションの個数が入ります。

※ストロークや搬送面高さ等に
 応じて製作いたします。

本製品はサーボモータ、減速機まで取り付けて出荷いたします。サーボアンプ、ケーブル等は含まれませんのでお客様の設備仕様に合わせてご選定ください。

NKE株式会社 [旧社名(株)中村機器エンジニアリング]

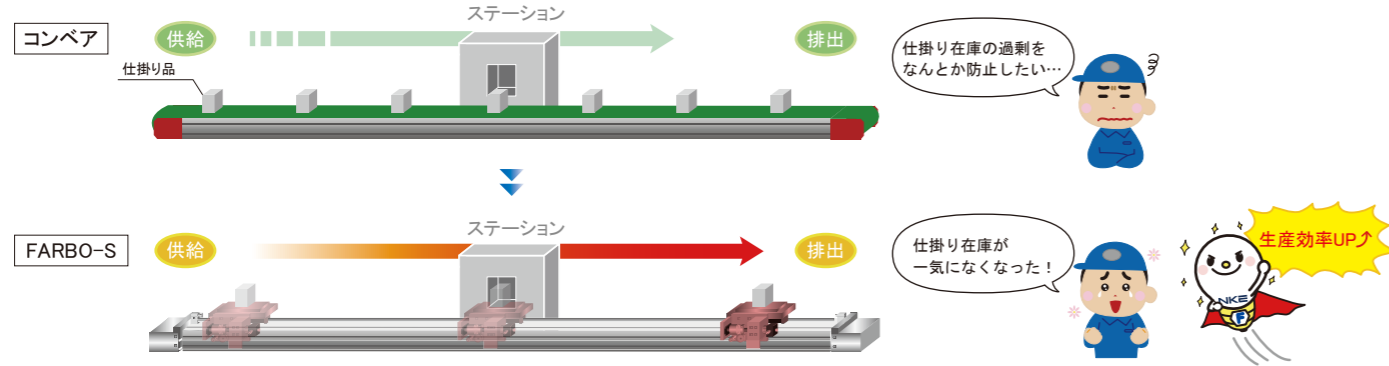
本 社 工 場 〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1 TEL:075-924-0653 FAX:075-924-4653
 さいたま営業所 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1丁目15 松屋ビル4階 TEL:048-778-9651 FAX:048-778-9652
 名古屋営業所 〒460-0025 名古屋市中区古渡町18-9 TSUNOKYU名古屋ビル302号 TEL:052-322-3481 FAX:052-322-3483
 京都営業所 〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1 TEL:075-924-3293 FAX:075-924-3290
 広島営業所 〒739-0042 広島市西条町西条東1051 丸ビル321号 TEL:082-424-8711 FAX:082-424-8711

0120-51-5651 AM9:00~PM5:00 (土日、祝祭日は除く) <https://www.nke.co.jp/>

アプリケーション

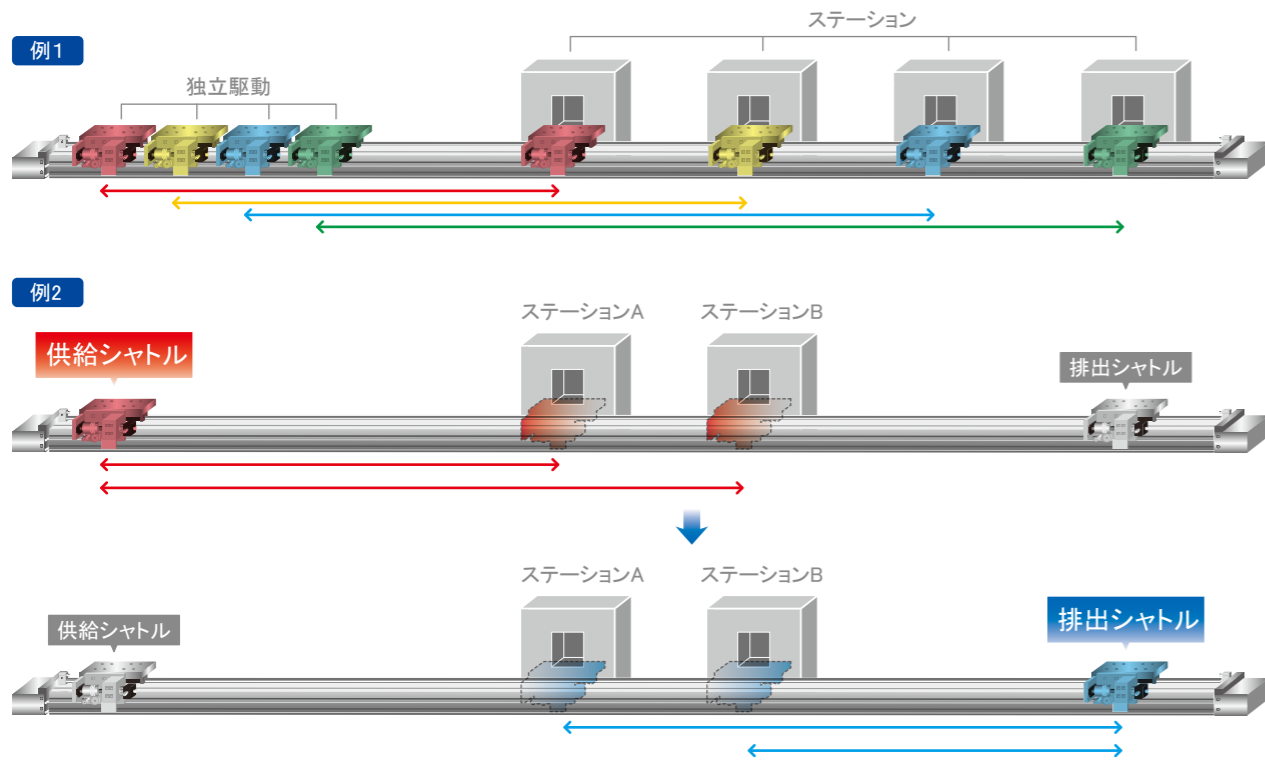
1. 仕掛り品の削減

長尺ラインでも高速搬送で仕掛り品を減らし、タクトタイムの短縮が可能です。



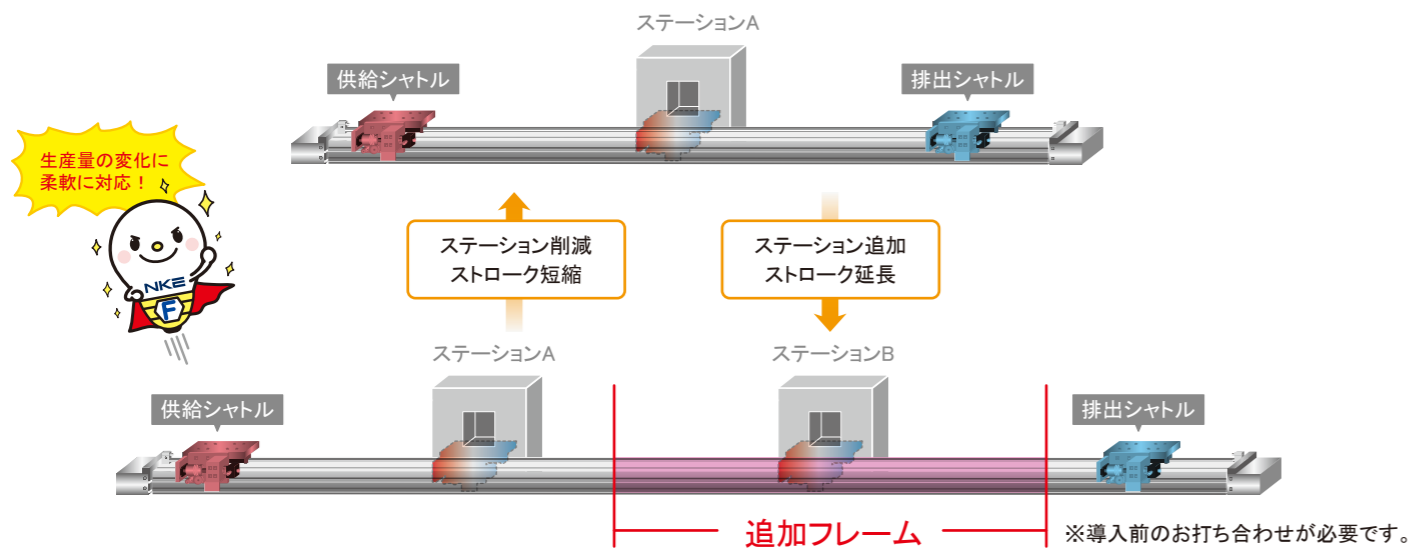
2. 複数シャトルの独立駆動を実現

独立駆動するシャトルを同一レール上に複数搭載可能。同じ部品を複数のステーションに投入する(例1)、供給シャトルと排出シャトルを分ける(例2)といったことが可能です。



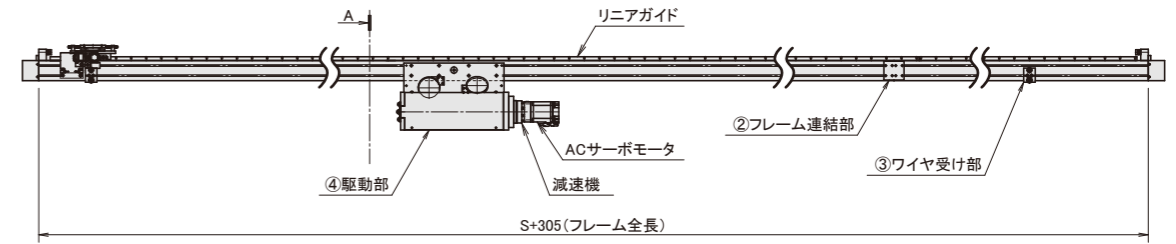
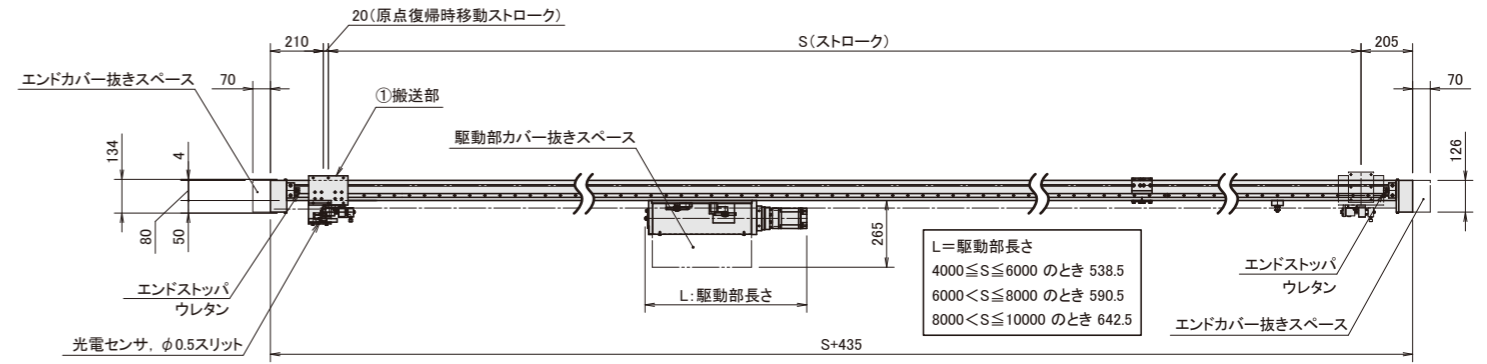
3. ストロークの延長や短縮が可能

フレームを追加、削減することで、ストロークの延長、短縮が可能です。レイアウト変更により生産量の変化に対応できます。

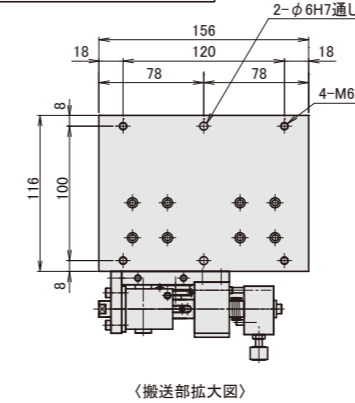


外形寸法図

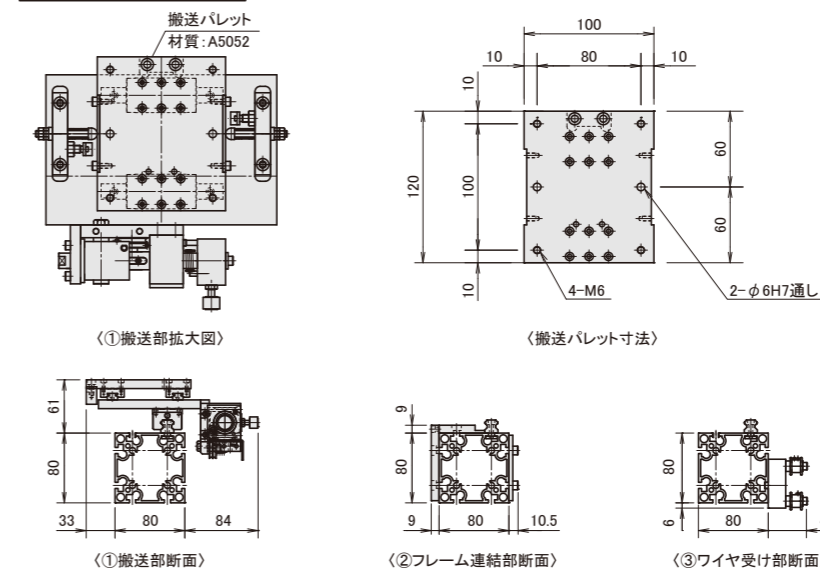
※駆動部の位置は、フレーム連結部や梁台などの干渉を避けての配置となります。できるだけ中央に配置したほうが、ワイヤ寿命に対し有利となります。駆動部を端に配置したい場合はご相談ください。
※②、③はストロークによって取付け数が変わります。



フローティング機構なし



フローティング機構あり



位置決めオプション

